デジタル技術による文芸の新たな表現

研究代表者　木　村　　豊

1．分担者

深　澤　助　雄
金　子　一　郎
福　沢　栄　司

2．協力者・所属

今　井　道　児

3．2008年度の研究活動の概要

「ルーネン」第31号合評会	2005年２月23日
今井道児，退職ドイツ語教師から見た Der Spiegel の文体	2005年７月４日
福沢栄司，思想としての「大衆」	2006年５月31日
木村　豊，なぜ“森鷗外”か ― 異界往還の文学 ―	2007年５月16日
「ルーネン」第32号合評会	2008年６月30日

4．業績

今井道児「手塚富雄『ヘルダーリン』に」，『ルーネン』第32号2007年12月10日，１頁～40頁

木村豊「毒抜きグリム」，『ルーネン』第32号2007年12月10日，41頁～91頁

その他

ドイツ語劇シェイクスピア作「リア王」（2008年２月16日）のDVD制作

ドイツ語劇デュレンマット「老貴婦人の訪問」（2009年２月18日）のDVD制作